

東京交通新聞 2008 年（平成 20 年）9 月 29 日（月曜日）

<各社が最新車両>

東京で国際福祉機器展

一層乗降しやすく

最新の福祉機器が展示される国際福祉機器展が 24 日から 3 日間、東京・江東区の東京ビッグサイトで開かれた。

トヨタ自動車は新型アルファードの車いす仕様車スロープタイプを出展。高級ミニバンの新型アルファードは電動ウインチが装備されたほかニールダウンがよりスムーズになり床面もフラットに改良されている。車いすも 2 台乗車出来る。ヴェルファイア・サイドリフトアップシート車、ハイエース車いす仕様車なども展示された。

日産自動車はセレナチェアキャブ・リフタータイプを出展。簡単なボタン操作の全自動リフターとリフター上に車いすを固定したまま乗車できるため、乗降が短時間で済むことを実演した。

福祉タクシーの入門車として人気のクリッパーリオ・チェアキャブや本格派のキャラバン・チェアキャブも展示された。福祉機器での事故を防止するため、福祉車両に関する正しい知識や使用方法を普及させるためのセミナーも開かれた。



電動ウインチが装備されたトヨタアルファード



乗降が短時間で行える日産・セレナ